

# ピピピピピ

## 真和で南極ライブ授業 真和高校15期生 越智勝治氏



九月十三日本校の仏殿で、南極の昭和基地とテレビ会議システムで結んだ「南極ライブ授業」がありました。この授業のきっかけは、真和高校十五期卒業の越智勝治さんが医療担当者として、第四十六次越冬隊員に参加するので、是非母校の真和中・高等学校で、「南極ライブ授業」を実現したい、ということでした。

ちょうど、真和中学創立五十周年の記念授業として同窓会などの企画で始まりました。学校からは、宇藤教頭先生をはじめ、川野、長尾、長坂のスタッフの各先生で計画をしていきました。

越智さんを通じて国立極地研究所の方からテレビ会議システムの方から無償提供を受け、またISDN回線は、N.T.T.の真和卒業の川嶋さんと中原さんのおかげで、準備ができ、越智さんとご連絡では同級生の町野さんと長坂先生が電子メールで連絡を取りながら進めることができました。また、司会進行は三十一期卒の河村薫子さん（NKK）にお願いすることができ、真和同窓会のつながりの強さを感じました。

当日、会場の大ホールに越智さんの姿が映し出され、各学年の生徒代表が、「食事の生野菜はどうしているか」「地球温暖化で水が溶けているのか」「一など」と質問、越智さんをはじめ、越冬隊の隊員の皆さんが

「キャベツと卵が底をつき、カイル大根やモヤシを栽培している」「温暖化が進んでいるという観測結果はないか、今後の影響が考えられる」という解答。ライブ授業は約一時間続きました。最後に越智さんが「この授業が励みになって、皆さんの夢が実現するよう、皆さんの応援をお願いします」と後輩に向けてのメッセージがありました。

南極教室について、越智氏から、同窓会に「九月十三日の南極教室は、回線のトラブルもなく無事開催できました。久しぶりに見る真和中学・高等学校の制服、とても懐かしかったです」とメッセージが送られてきました。

越智氏は十月十七日から八人で内陸のドームふじ基地に向かい、十一月十七日に到着、過酷な環境の中で活動を続けています。ドームふじ基地は標高は約三八〇〇mで、南極地域で最も高い位置にある。基地は内陸にあり標高も高いため、当初は気温がマイナス六〇度程度まで下がり燃料もゼリー状になったという。

大晦日に届いたメッセージによると、南極地域にも夏が訪れ、昭和基地は連日気温が〇度以上。ふじ基地も暖かくなり、気温マイナス二十五〜四十度で推移している。



糸山 剛志

## 県民文化賞を受賞して

補に挙げられた。ベスト8の方々の事前調査では、みな、糸山を倒した。だったそなた。私も天狗になっていた。優勝するつもりでいた。

ところが結果四位と二位。とうとう一年生では優勝できず自信喪失、どうやって今まで勝ってきたのかわからなくなっていた。そしてたか一回全国大会で優勝したくらいで天狗になっていた自分が情けなく思えた。

二年になり、アマチュアの県予選に挑んだものの、三大タイ

帰着する予定。「日本はインフルエンザの流行期になっている」と思いますが、皆様のご健康をお祈りいたします。

後記 越智隊員帰国  
第四次日本南極地域観測隊は三月二十一日シドニーに到着し、二十八日に帰国しました。今シーズンには他の国の基地で不幸な事故が数件発生しています。日本隊は大きな事故や

病気の発生がなく全員無事に帰国できたことを、医療担当として特に喜ばれ感じています。越冬中に実施した南極教室は、私にとっても貴重な経験になりました。テレビの画面越しに映し出される皆様の姿に、私も勇気付けられました。四月からはまた病院勤務となりますが、機会を見つけて帰国の報告に伺おうと考えています。

予選通過というだけでも私に予てびつくりするのには十分な出来事でした。他校の人達の表現力というか場慣れし堂々としたオーラのようなものに私が感心する気持ちの方がずっと強かったからです。予選を終えて屋敷に茄子グラタンを食べる最中に、近くにあった他校の先生が予選通過したの生徒を先表して、「私達の番号が呼ばれた時の驚きは忘れられません。先生に御指導して頂いた通り話すよう予選の時も決勝の時も心がけたけれど、本番になるとやはり緊張するもので間違えないようにすればするほど、その箇所が気になって結局決勝でも間違えてしまいました。このミスが私を変に開き直させ、今日帰りに私のCDを借りようかと何となく考えていた矢先に一位として自分の名前が呼ばれたのでやっぱりいい神様もいるんだなとおぼろしいの受賞もした。もちろんとて嬉しかったのは言うまでもありません。

英語が世界語として幅広い分野において扱われる近年、それに伴い英語教育の低年齢化も進んできました。最近ではテレビでも英会話学校やジュニア英語のコースやチャイルドを見ない日はありません。違和感もなくそれを見ている自分がいて、こんなにも当たり前のようになっている日

本以外の国の言葉が浸透している事に対して改めて考えさせられます。いくら日常英会話といってもテキストがあり指導能力のある先生がいて、一時間ない二時間のレッスンの時間が終われば、まさに日常の日本語に開かれた生活に戻ってしまいます。表裏、実際海外ではゴミ箱一つ表現するだけでも生活様式や文化によって言い方が違ったり、その地方独特のなまりで時には英語として聞き取る事でさえ難しく感じる事があつたりなど、なかなか思うように自分の意思を表現しにくい時があります。でも不思議な事に一生懸命伝えようとしている雰囲気は言葉の壁を越えて分るようで、相手も壁を越えて分るようで、相手と熱心に耳を傾けてくれる。私が出会った人達が偶然にも、みな良い人達ばかりだったのかもといふ事、もしかしたら、私が伝えた事を理解しあおうとした時、そこにはいつでも本當の意味での英会話と言うコミュニケーションがあるのだという事、この大会で学んだ気がしました。

第十八回熊本県高等学校  
英語暗唱大会優勝!!

真和高校 二年 前田 華奈

予選通過というだけでも私に予てびつくりするのには十分な出来事でした。他校の人達の表現力というか場慣れし堂々としたオーラのようなものに私が感心する気持ちの方がずっと強かったからです。予選を終えて屋敷に茄子グラタンを食べる最中に、近くにあった他校の先生が予選通過したの生徒を先表して、「私達の番号が呼ばれた時の驚きは忘れられません。先生に御指導して頂いた通り話すよう予選の時も決勝の時も心がけたけれど、本番になるとやはり緊張するもので間違えないようにすればするほど、その箇所が気になって結局決勝でも間違えてしまいました。このミスが私を変に開き直させ、今日帰りに私のCDを借りようかと何となく考えていた矢先に一位として自分の名前が呼ばれたのでやっぱりいい神様もいるんだなとおぼろしいの受賞もした。もちろんとて嬉しかったのは言うまでもありません。

英語が世界語として幅広い分野において扱われる近年、それに伴い英語教育の低年齢化も進んできました。最近ではテレビでも英会話学校やジュニア英語のコースやチャイルドを見ない日はありません。違和感もなくそれを見ている自分がいて、こんなにも当たり前のようになっている日

本以外の国の言葉が浸透している事に対して改めて考えさせられます。いくら日常英会話といってもテキストがあり指導能力のある先生がいて、一時間ない二時間のレッスンの時間が終われば、まさに日常の日本語に開かれた生活に戻ってしまいます。表裏、実際海外ではゴミ箱一つ表現するだけでも生活様式や文化によって言い方が違ったり、その地方独特のなまりで時には英語として聞き取る事でさえ難しく感じる事があつたりなど、なかなか思うように自分の意思を表現しにくい時があります。でも不思議な事に一生懸命伝えようとしている雰囲気は言葉の壁を越えて分るようで、相手も壁を越えて分るようで、相手と熱心に耳を傾けてくれる。私が出会った人達が偶然にも、みな良い人達ばかりだったのかもといふ事、もしかしたら、私が伝えた事を理解しあおうとした時、そこにはいつでも本當の意味での英会話と言うコミュニケーションがあるのだという事、この大会で学んだ気がしました。

## 新任先生紹介(自己紹介)

伊牟田 紘先生



- (1)担当教科 数学
- (2)前任校 熊本北高校
- (3)好きなことは
- (4)趣味 テニス、釣り

林原 ゆみ先生



- (1)担当教科 音楽
- (2)前任校 真和が初めてです。
- (3)好きなことは
- (4)趣味 音楽鑑賞 散歩

林 雅應先生



- (1)担当教科 国語
- (2)前任校 東稜高校
- (3)好きなことは 誠実
- (4)趣味 釣り

安部 悠介先生



- (1)担当教科 社会
- (2)前任校 鎮西高校
- (3)好きなことは 剛毅林訥
- (4)趣味 スポーツ全般

吉村 武先生



- (1)担当教科 数学
- (2)前任校 天草高校
- (3)好きなことは 日々新たな
- (4)趣味 囲碁

田川 容子先生



- (1)担当教科 総合学習
- (2)前任校 真和高校が初任教です。
- (3)好きなことは 希望は高く夢は清らかに
- (4)趣味 旅行 ドライブ、音楽鑑賞

持永 陽子先生



- (1)担当教科 英語
- (2)前任校 九州学院
- (3)好きなことは 成長
- (4)趣味 スポーツ観戦、音楽鑑賞

野田 剛先生



- (1)担当教科 化学
- (2)前任校 済々黴高校
- (3)好きなことは 報本反始
- (4)趣味 バイク

退任の先生

- 松本 玲一先生(数学)
- 本田 紘一先生(英語)
- 松村 秀俊先生(保健体育)
- 椎葉 義俊先生(高校女子寮)
- 工藤 宏子先生(音楽)
- 奥村 正一先生(理科)
- 森川 俊一先生(数学)
- 唐島富士子先生(英語)
- 森崎 忠昭先生(理科)

小森 洋光先生



- (1)担当教科 保健体育
- (2)前任校 鎮西高校
- (3)好きなことは 忍耐
- (4)趣味 昼寝

平江 望先生



- (1)担当教科 理科
- (2)前任校 なし
- (3)好きなことは 一期一会
- (4)趣味 温泉



# 新入生のことば

## 夢に向かつて

真和中学校 一年三組 政池 彩雅



四月八日、新しい制服に袖を通し、期待と不安の中で私は真和中学校の一員となりました。今まで六年間共に学校で学んだ地元の友達と離れこの学校へ進学を決定したのは、将来バイオテクノロジの応用研究の仕事をしたと思うからです。

以前家で飼っていた犬が心臓病に苦しんでいたことが、バイオの応用研究をし

たいと思っただけでいい。そのとき、私はただ見ていることしかできない悔しさを実感しました。初めは動物の病気を治すのだから獣医さんになりたいと思

でも多くの病気を治す方法を見つけないと思うようになりました。今は三匹の犬を飼っています。そのうちの二匹もまだ子供頃は心臓病でして

散歩用のひもを持つとすぐに尻尾を振りながらと

た。散歩用のひもを持つとすぐに尻尾を振りながらと

た。散歩用のひもを持つとすぐに尻尾を振りながらと

た。散歩用のひもを持つとすぐに尻尾を振りながらと

た。散歩用のひもを持つとすぐに尻尾を振りながらと

た。散歩用のひもを持つとすぐに尻尾を振りながらと

## 時間を大切に

真和高校 一年一組 加藤 麻衣



四月八日、私は晴れて真和高校の一員となりました。入学当初は戸惑うことも多かったのですが、二週

間経った今では少しずつ慣れてきました。高校生活にも

慣れてきました。高校生活にも

慣れてきました。高校生活にも

慣れてきました。高校生活にも

慣れてきました。高校生活にも

慣れてきました。高校生活にも

慣れてきました。高校生活にも

慣れてきました。高校生活にも

### 入試状況

## 平成19年度 真和入試ガイド

### 中学校入試

(1) 専願生の受験者  
“四年連続増加”

(2) 二度の受験チャン  
“入を生かそう”

専願生の受験者は平成十五年度は三十四名、十六年度は五十七名、十七年度は六十一名、本年度は六十五名。このように、毎年受験者が増加し、真和中学への志

特待・専願入試で不合格となり、一般人入試を再受験した二〇名(特待六名、専願一四名)のうち、合格者が一七名(特待六名、専願一名)ありました。



そこで特待・専願入試で不合格になってもあきらめずに、合格のチャンスが二度あるという考えで一般人入試にチャレンジして欲しいと思います。

### 高等学校入試

(1) 特待・専願生試験  
の前年度との平均点比較

(2) 再受験者  
“多数合格”

年度	国語	社会	数学	理科	英語	合計
17年度	73	70	73	66	75	357
18年度	75	75	58	74	73	355
差	+2	+5	-15	+8	-2	-2

特待・専願入試で不合格になり、一般人入試を再受験した三六名のうち、合格者が三四名ありました。このように再受験者が一般人入試で多数合格しています。

### [18年度中学入試結果]

受験者	合格者	入学者	合格点	受験者平均点	
				特専	一般
特待A	4(5)	1(0)	457(470)	113	87
特待B	16(15)	2(0)	431(440)	81	57
特待C	150(153)	30(29)	270(294)	66	64
特待計	204(219)	33(29)		65	55
専願	65(61)	44(36)	251(267)	325	263
一般	33(41)	23(22)	245(264)	国語(50分・150点) 算数(60分・150点) 社会(40分・100点) 理科(40分・100点)	
総計	302(321)	237(234)	94(80)		

( )内は17年度

### [18年度高等学校入試結果]

受験者	合格者	入学者	合格点	受験者平均点	
				特専	一般
特待A	18(19)	0(1)	422(434)	75	60
特待B	52(50)	1(1)	398(404)	75	76
特待C	463(462)	99(119)	312(315)	58	59
特待計	587(616)	100(121)		74	80
専願	10(14)	7(8)	273(272)	73	75
一般	140(168)	49(52)	322(331)	355	350
総計	737(798)	659(667)	156(181)	各教科(50分・100点)	

( )内は17年度

## 入試説明会

(前年度の入試問題(解答例付)も配布します)

[第1回] 10月29日(日) [第2回] 11月23日(木・勤労感謝の日)

(いずれも午前10時より本校で行います)

[天草地区説明会] 11月3日(金・文化の日) 午後2時より美菜プラザ(旧・本渡労働者組合福祉センター)

[東北地区説明会] 11月4日(土) 午後2時より玉名市・大麻文化会館(青年婦人会館)

[県南地区説明会] 11月12日(日) 午後2時より八代市・やつしろハーモニーホール(3階大会堂)

### 平成十八年度 特待生

〔高等学校〕  
(特待生A)  
三年 世古口真吉  
三年 宮原 隆志  
二年 白石 雅大  
一年 宮崎 喜郎  
一年 加藤 麻衣

(特待生B)  
三年 森屋 百佳  
三年 大瀧 宏信  
三年 宮島宗一郎  
三年 澤村 大祐  
三年 畑中 大輝  
三年 内山 博樹  
三年 有馬 瑛子  
三年 濱浦 美里  
二年 光吉 ころ  
二年 鶴田 桜子  
二年 坂本 翠  
二年 松下 晴香  
二年 原 淑大  
一年 後藤 唯  
一年 益田 千聖  
一年 後藤 正太郎  
一年 西岡 武尊

〔中学校〕  
(特待生A)  
一年 中村 菜摘  
一年 美作 貴憲

(特待生B)  
三年 中原 志乃  
三年 村上 綾菜  
二年 江崎 有  
二年 上野 祐樹  
一年 小田 詩織  
一年 政池 彩雅

